概要

このケーススタディは、フォーチュン500テレコム会社についてです。彼らは毎月の発生プロセスに苦しんでいて、サービス支出を管理していました。Coupa は、要求、承認、発注書、受信、請求書、レポート、およびベンチマークに使用されています。フローの例としては、入札、サービス開始日/終了日を取得し、契約または見積もりを要求明細行レベルで関連付けることがあります。彼らはまた、プロジェクトベースのPOのビットを行います。

一般情報

* 200 ユーザー ライセンス
* 25,000以上のGLアカウント
* 600以上のサプライヤー
* オラクルERPによる4つの自動統合ポイント
* 最初の100日間の支出で$250M以上

実装タイムライン

* 最初のGo-Liveへの契約:含む40日:
  + すべての機能
  + すべてのユーザー
  + クーパとオラクルの手動統合
* Oracle統合の初期のGo-Live:18日間、以下を含む:
  + クーパとオラクルの間のすべての自動統合

統合情報

* オラクル ERP バックエンド
* Oracle から Coupa への次のビジネス・オブジェクトの自動統合:
  + サプライヤー
  + アカウント
  + 請求書支払
* Coupa から Oracle への次のビジネス・オブジェクトの自動統合:
  + 請求 書
* 統合は、sFTP サイト間で 2 つのシステム間のフラット ファイルをプッシュすることによって行われます。

添付 ファイル

[プロジェクト計画](https://success.coupa.com/@api/deki/files/114/CaseStudy_F500_TelecomProjectPlan.xls?revision=2): プロジェクトの実行に使用されるプロジェクト計画が、クライアント固有の情報を削除するように変更されました。プロジェクト計画ツールから Excel にダウンロードされているので、期間 (日数) 列は特定のタスクセットに対して使用されます。統合を含むプロジェクト全体は58日かかりました